
終わらぬ夜に、背を向けて

わんちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終わらぬ夜に、背を向けて

【Nコード】

N1053B

【作者名】

わんちゃん

【あらすじ】

なんでこんなことになったんだろ？僕の平穩は、もう戻って来ないのかな…

僕が5歳の誕生日の日、お父さんとお母さんは死んだ。その日は、朝から肌寒くて雪が粉のように降っていた。

2人は僕のせいで死んだ。僕のほんのワガママのせいで死んだ。

単純な理由だった。ただ、貰ったプレゼントに納得ができなかっただけなのだ。そして2人はプレゼントの買い直しに行く途中、居眠り運転をしていたトラックと激突をして死んだ。たった一言、たった一言で2人は余りにも無残にこの世を去ってしまった。

それから数ヶ月後のことだった。僕は、だれも居ないはずの寂しい家の中に、ふと違和感を感じるようになった。最初はうつすらと、でも日を重ねる度にその違和感は簡単に感じられるほど大きなものになった。

そして、異変は起こった。

「「やあ少年よ」「

朝目を覚ますと、目の前に見知らぬ女の子が2人いたからだ。年は、だいたい同じぐらいだろう。

「……………誰？」

「ああ、驚かせてごめんね。私は天使だよ。よろしく。」

白いワンピースを着て真っ白な髪の子が話した。よく見ると、目の色がよく分かるぐらい銀色である。

「僕は悪魔、よろしく」

その隣にいた真っ黒なワンピースを着て真っ黒な髪をした女の子が話した。目の色は、さっきの子とは対照的な、金色だ。

「よ…よろしく」

こうして、僕の奇妙な共同生活が、幕を開けるのだった。

僕たちは大学生になった。“たち”という表現をおかしいと感じるかもしれないが、僕たちなのだ。まず、天使と悪魔は人間になることができるのだ。なぜできるのか聞いてみたら、

「それは…物語の都合じゃない？」

と軽くあしらわれてしまった。

彼女たちの話だと、僕は両親が死んだ日から幽霊が見えるようになったらしい。しかも、天使と悪魔がはつきりと見えるほど、強い霊感を。

おっと、話を戻そう。俺は今、3人で同じ大学に通いながら、除霊活動をしている。まあ、除霊といってもなんたらかんたら言いなが

ら無理やり幽霊を成仏させるのではなく、その幽霊の未練を取り除くといったことをしてるのだが。

「一馬、早く依頼人の所に行こ」

放課後の屋上、僕が寝そべっていると、美月（天使）が呼びに来た。

「…わかった」

僕は起きあがると屋上を出る。

「遅いぞ」

屋上を出ると、入り口のまえで皐月（悪魔）がふてくされた顔をしていた。

「だって……眠かったんだもん」

僕は目を擦りながら皐月の横を通り過ぎていく。皐月は呆れてなにも言えないようだ。

「今日はちゃんと成仏させてね。でないと、また死神に魂を持っていかれちゃうよ」

天使が腕を組みながら言う。

「ああ、わかってるよ」

言い忘れていたが、なぜ2人が人間界に来たのかというと、それは仕事のためだった。その仕事の内容は、

「大神一馬をサポートし、死神に魂を奪われないように注意をして無事に霊を成仏せよ」

というものだった。ハッキリ言って、かなり迷惑だ。

「それで、今回の依頼人はどんな人なの？」

「聞いて！今日は有名会社社長よ！娘に憑いた霊をなんとかしてだつてさ」

僕の質問に、美月が答えた。

「なるほど、わかったよ」

こうして、今日もけだるい仕事が始まるのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1053b/>

終わらぬ夜に、背を向けて

2011年1月1日01時41分発行